

# 第52回 医学教育セミナーとワークショップ in 秋田

## 開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。第52回医学教育セミナーとワークショップは、秋田大学大学院医学教育学講座と共同開催いたします。奮ってご参加ください。

秋田大学大学院 医学教育学講座 長谷川仁志  
岐阜大学 医学教育開発研究センター 鈴木康之

**日程** 2014年5月24日(土)～25日(日)  
**会場** 秋田大学医学部 (本道キャンパス)

- WS-1 多職種連携シミュレーション教育シナリオづくり**  
—日常臨床現場の重要課題をチームでどう教育する—
- WS-2 ネイティブ英語SP参加型医療面接の可能性**
- WS-3 プライマリ・ケア、地域医療教育ネクストステージ**
- WS-4 初年次からの外科系教育をどう展開するか** —外科系教育とプロフェッショナリズム—
- WS-5 卒後臨床研修担当事務職の役割と研修医支援**
- WS-6 身体診察異常所見を表現するSPの養成と教育における活用**
- WS-7 実践に理論をブレンドする** —よりよい研究と教育のために—
- WS-8 21世紀のキャリア教育 あきらめない、やめないキャリアを求めて**  
—男女共同参画教育の挑戦—
- セミナー**
- 1) **医療アクセス世界一の日本が医学教育を先導する時代に向けて**  
—初年次から卒業までOSCE30ステーション 秋田大の取り組み—
- 2) **国際教養大学創設からの10年の歩みとグローバル化への挑戦**  
—全講義英語・全学生1年間留学・全教員世界公募—

**プレ企画 (秋田大主催)** 2014年5月23日(金)～24日(土)

- 見学セミナー 『ネイティブ英語SPによる秋田大3年次必修 医療面接英語OSCE』
- プレWS 『国際認証時代における各分野クリニカルクラークシップ指導をプロデュースする』

		プログラム				
23日(金)	午後	見学セミナー (秋田大主催)				
24日(土)	午前	プレWS (秋田大主催)				
	午後	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-5
	夕方	セミナー1・2				
	夜	懇親会				
25日(日)	午前	WS-1	WS-6	WS-7	WS-8	

2014  
春

## WS-1 多職種連携シミュレーション教育シナリオづくり ―日常臨床現場の重要課題をチームでどう教育する―

企画： 阿部幸恵・佐久川 卓（琉球大）、武田 聡・及川沙耶佳（東京慈恵会医科大）

日時： 5月24日（土）12:45-16:30、25日（日）9:00-13:00

概要： 近年、安全で質の高い医療を患者個々のニーズに沿って提供していくためのひとつの効果的な教育方法として、シミュレーション教育が注目されている。本邦でも、それは広がりを見せ、各専門職者別のシミュレーション教育が展開されるようになってきた。今後の課題は、どのように多職種でチーム連携のトレーニングを展開していくかであろう。そこで、本WSでは、日常臨床現場での多職種連携の課題をディスカッションから抽出し、シナリオの題材を考える。その上で、どの施設でも実施可能なシナリオをグループで作成していく。2日間のWSは、グループ単位のワークと全体セッションを交えて行い、個々のグループの進行やファシリテータの実践例や提案などを共有しながら進行していく。

対象： シミュレーション教育に携わっている医療職者（医師や看護師以外の職種の方も大歓迎）

定員：24名

## WS-2 ネイティブ英語SP参加型医療面接の可能性

企画： 芦田ルリ（東京医科大）、倉本クリスティーン（浜松医科大）、阪下和美（MEDC）、D.ウッド・長谷川仁志（秋田大）

日時： 5月24日（土）12:45-16:30

概要： 英語での医療面接を授業に導入している大学は増えてきていますが、実際に外国人SPを活用して実践的な医療面接実習を行っている大学は少ない現状です。自分と異なる背景・考え方を持つ外国人SPとの医療面接は、グローバル社会で貢献できるコミュニケーション力の伸長のみならず、プロフェッショナルな意識を持った学生・医療人を育てることにもつながります。このWSでは外国人SPを養成する際の課題や問題点を議論し、解決策を話し合いながら、各大学で外国人SPを活用した医療面接実習を導入する方法（英語表現の学習法、学年別実習の形式と工夫、各学年・段階におけるOSCEの実際等）を東京医科大学・秋田大学・岐阜大学・浜松医科大学の例を参考に実際の模擬患者さんの意見もいただきながら考えてみます。

対象： 医学・医療教育に関わる教員、職員、模擬患者

定員：20名

## WS-3 プライマリ・ケア、地域医療教育ネクストステージ

企画： 前田隆浩（長崎大）、井口清太郎（新潟大）、國光文乃（厚生労働省）

日時： 5月24日（土）12:45-16:30

概要： プライマリ・ケアの考え方や守備範囲は広く、包括的な地域医療を実践していく上では必須といえよう。近年、全国の大学がプライマリ・ケア教育と地域医療教育に力を入れるようになってきたが、高齢化とニーズの多様化が急速に進んでいる日本の国情、二次医療圏の実情（地域医療）、そして検討が進む各科専門医制度と総合診療専門医のあり方など、今後見据えていくべき問題は多い。本WSでは、全ての医学生が受けるべきプライマリ・ケア教育に関する課題の抽出と解決策の模索だけでなく、総合診療医のあるべき姿とそのキャリア形成を視野に入れながら、プライマリ・ケアと地域医療教育のネクストステージについて議論する。

対象： 大学教員、医療関係者、医療系学部学生

定員：40名

## WS-4 初年次からの外科系教育をどう展開するか ―外科系教育とプロフェッショナリズム―

企画： 安藤秀明（秋田大）、浅尾高行（群馬大）、南谷佳弘（秋田大）、小西靖彦（京大）

日時： 5月24日（土）12:45-16:30

概要： 医学教育の国際認証（質保証）時代に入り、外科系医師となるべく高い志を持って入学してきた学生への1年次からの選択カリキュラムや、全医学生への必修カリキュラムとしての外科教育をどう展開していくかが大きな課題となっております。また、これまで、外科手技は先輩の背中を見て習得するといった、職人的伝授法が行われてきました。しかし、外科手技が高度化・複雑化するに伴い、従来の伝授法では習得が難しく、これが若手医師の外科離れの一因となっております。本WSでは、これらの課題を踏まえて、1年生からの外科系教育を展開している秋田大の例を参考に、これからの理論的かつ効果的な外科系教育の在り方とプロフェッショナリズム育成について考えてみたいと思います。外科系教育や医学教育に携わる多くの皆様の参加をお待ちしております。

対象： 外科系医師、教育担当医師、医療従事者

定員：20名

## WS-5 卒後臨床研修担当事務職の役割と研修医支援

企画： 尾原晴雄（沖縄県立中部病院）、青野真弓（聖路加国際病院）、鈴木康之・川上ちひろ（MEDC）

日時： 5月24日（土）12:45-16:30

概要： 卒後臨床研修を取り巻く環境は、この10年で大きな変化を遂げました。その中で、事務担当職員の役割はますます重要になってきています。書類作成・データ管理等の事務手続きだけでなく、研修医、指導医に対するさまざまな支援の役割を担っています。このWSでは、全国の大学病院、臨床研修病院で事務を担当している皆さんにお集まりいただき、それぞれの経験を共有しながら議論したいと思っています。また、研修医のサポート体制やメンタリングについてのグループ学習や、問題を抱えた研修医への対応法についてのロールプレイも予定しております。

対象： 臨床研修病院（大学病院、一般病院）の卒後研修事務担当者

定員：30名

## WS-6 身体診察異常所見を表現するSPの養成と教育における活用

企画： 石川和信（福島県立医科大）、阿部恵子（名古屋大）、井上千鹿子（埼玉協同病院）、長谷川仁志（秋田大）、藤崎和彦（MEDC）

日時： 5月25日（日）9:00-13:00

概要： 日本における医学教育の国際認証（質保証）に向けた今後の取り組みとして、神経学的異常所見（反射の亢進、運動障害、四肢等の感覚・運動障害の鑑別）、胸部診察の異常所見（肺の聴診、頸動脈の聴診）、腹部診察異常所見（触診）、皮膚の異常所見（皮疹、紫斑、紅班、留置針の穿刺部発赤等感染所見、さし口、皮下出血等）を実際に実技にて表現できる模擬患者の育成や、医師・医療系学生教育への応用は非常に重要です。本WSでは、この手法を使った実際の教育事例やアドバンスOSCE等の取り組みの紹介とともに、上記について身体診察（胸部と神経の2ステーション）、皮膚異常所見ムラージュ2ステーションの計4つのステーションすべてをご経験いただきながら重要症例ベースで実際の実技と指導の演習を行います。翌日からの各機関の医学・医療系学生・研修教育に応用できるセッションとなりますので多数ご参加ください。

対象： 医師・医療系教育・研修に携わる医師、看護師、薬剤師、医療従事者、模擬患者

定員： 20名

## WS-7 実践に理論をブレンドする —よりよい研究と教育のために—

企画： 西城卓也・今福輪太郎（MEDC）、菊川 誠（九州大）

日時： 5月25日（日）9:00-13:00

概要： 医療同様、教育にも根拠が存在します。教育の実践にせよ研究にせよ、信条も重要ですが、理論・文献・先行研究などの様々な情報を理解したうえで、改善・推進出来たら魅力的だと思いませんか？本WSでは、効果的な情報の検索に重要な3つの目的について提案します。そしてその目的に合わせて、参加者が必要な情報を探し出せる方法を様々な方法・ツールとその良し悪しを、情報共有します。そして使用頻度の高い各種検索サイトをどう操作するか、どんな単語を入力して、どう検索するのか、得た情報をどうブレンドするのか、参加者の事例で練習します。

対象： 医療教育の実践に携わる方で、その担当している教育実践を根拠的裏付けのもと改善したいと思っている（がどこから調べていいのかよくわからない）方、もしくは医療者教育研究に携わる方で、その領域の基本的情報や先行文献を調べたいと思っている（がどこから調べていいのかよくわからない）方

定員： 20名

## WS-8 21世紀のキャリア教育 あきらめない、やめないキャリアを求めて —男女共同参画教育の挑戦—

企画： 蓮沼直子（秋田大）、泉 美貴・青木昭子（東京医科大）

日時： 5月25日（日）9:00-13:00

概要： すでに多くの大学や病院では女性医師支援が進み、勤務継続サポートは整いつつあります。しかし、サポート制度だけではなく、本人のモチベーションや周囲（同僚、上司）の理解なども必要です。そのためにも男女とも医学生のうちからキャリアや男女共同参画について考える必要があると考えています。このWSでは、すで、医学教育カリキュラムに必修講義としてキャリア教育・男女共同参画教育を取り入れている大学の事例や女性医師の現状を紹介します。そのあとグループに分かれて①現状と問題点の抽出②あきらめない、やめない女性医師を育てるための卒前教育の在り方、男女にかかわらず21世紀の医師の働き方などについてディスカッションを行いたいと思います。

対象： キャリア教育に興味のある教員、女性医師支援に関わっている教員など

定員： 20名

## セミナー 1) 医療アクセス世界一の日本が医学教育を先導する時代に向けて

—初年次から卒業までOSCE30ステーション 秋田大の取り組み—

講師： 長谷川仁志（秋田大）

日時： 5月24日（土）16:45-17:20

概要： 医学教育の質保証が問われる時代となり、基礎～臨床各分野や各医療機関が、教育のアウトカムを共有し、将来何科に進んでも大切な総合的な診療能力・人間力修得を保証する統合教育が必須となってきました。日本では、各分野が専門教育に偏ることなく、医学生が将来どのような分野に進んでも医師として修得しておくべき各分野の総合力にかかわる部分の診療能力を教育のアウトカムに設定し、症例ベースに各分野・学年横断的に経験保証する統合教育を展開することが国情に合っております。秋田大では主要症状の臨床推論・コミュニケーション教育を1年次通年で始めることにより、人間力の向上を促すとともに、重要ポイントをこれから学ぶ基礎および臨床医学と統合する試みをはじめました。パフォーマンス評価としては、1年から卒業までOSCE30ステーションを実施しております。本セミナーでは、これら医学教育展開のポイントと実際について述べたいと思います。

## セミナー 2) 国際教養大学創設からの10年の歩みとグローバル化への挑戦

—全講義英語・全学生1年間留学・全教員世界公募—

講師： 勝又美智雄（国際教養大）

日時： 5月24日（土）17:30-18:15

概要： 2004年に開学した国際教養大学は、全国初の公立大学法人で、①すべての授業を英語で行う②全員1年間の留学を義務付ける③事実上の全寮制、を3本柱に、「理想的な大学づくり」を目指している。教員は3年任期の年俸制で教育・研究・地域貢献・学務への協力の4分野で評価され、図書館は24時間365日オープンと、日本の大学には類例のない経営方針を貫いてきた。その結果が社会的にも産業界からも高く評価され、全国から優秀な人材が集まり「就職率100%」を続けている。その実情を公表する。



## プレ企画 (秋田大主催)

### 1.見学セミナー ネイティブ英語SPによる秋田大3年次必修 医療面接英語OSCE

企画： 長谷川仁志・D.ウッド・蓮沼直子・南園佐知子・寺田 舞 (秋田大)、芦田ルリ (東京医科大)、倉本クリスティーン (浜松医科大)

日時： 5月23日 (金) 13:00-17:00

概要： 秋田大では、主要症状の臨床推論・コミュニケーション教育を1年次通年で始めることにより、人間力の向上を促すとともに、その重要ポイントをこれから学ぶ基礎および臨床医学と統合する試みをはじめました。パフォーマンス評価としては、①模擬患者さんによる1年次医療面接OSCE4ステーション(S)：日本語 2S、ネイティブ英語 2S、②4年次共用試験OSCE 8S、③6年次アドバンスOSCE 16S (医療面接：神経、胸部、腹部、総合内科・精神科 4S+各科の医療面接ポイントと基本的診療能力確認 12S) を実施しております。今回は、今年から始まった3年生全員 (1年次でOSCEを日本語・英語で4回経験した学生) へのネイティブ英語模擬患者さんの医療面接OSCE (胸痛：5分) を見学いただきます。低学年からのOSCE実施は、日本におけるこれからの医学教育の質保証に必須の臨床実習前教育と考えており、たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。なお、このセッションは翌日の「WS-2 ネイティブ英語SP参加型医療面接の可能性」の実践現場見学版です。

定員：15名

### 2.プレWS 国際認証時代における各分野クリニカルクラークシップ指導をプロデュースする

企画： 長谷川仁志・安藤秀明・蓮沼直子・南園佐知子・寺田 舞 (秋田大)

日時： 5月24日 (土) 8:50-11:50

概要： 日本で教育の質を保証するためには、各専門分野が専門教育に偏ることなく、医学生が将来どのような分野に進んでも医師として修得しておくべき各分野の総合力にかかわる部分の診療能力を教育のアウトカムに設定し、症例・症状・病態・コミュニケーション課題ベースに各分野・学年横断的に経験保証する統合教育を展開することが国情に合っております。そのためには、どのようなアウトカムを持って統合し、具体的に教育展開していくかについて検討していく必要があります。本WSでは、それぞれの専門分野の指導医が、①コアカリキュラムやクリニカルクラークシップにて学生に必ず経験保証すべき主要症状や病態、コミュニケーション課題の基本30項目のうち6年間で、どの項目にかかわることができるのかを抽出し、②卒業前に必ず経験すべき各分野必修症例コンピテンスの症例シート作成について考えていきます。学生や研修医を指導する機会があるたくさんの皆様の参加をお待ちしております。

対象： 学生教育・研修医教育にかかわる各分野医師

定員：30名

## 参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。  
「MEDC」で簡単検索できます。

**締め切り：2014年5月11日(日)**

ホームページからお申し込みできない方は、TEL:058-230-6470 までご連絡ください。  
会場の都合で、各ワークショップに定員を設けております。  
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

#### 参加費： 2,000円 (資料代)

資料ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。  
参加者には後日、報告書を送付いたします。  
学部学生、プレ企画 (秋田大主催) のみご参加の場合は、無料です。  
ただし、報告書の送付はありません。

#### 懇親会費： 5,000円

参加費・懇親会費は、受付時に徴収いたします。

#### 会場： 秋田大学医学部 (本道キャンパス)

(〒010-8543 秋田市本道一丁目1の1)  
受付・各会場のご案内は、後日ホームページに掲載いたします。

#### ■バスをご利用の場合

秋田駅西口12番線→手形山団地→大学病院前  
秋田駅西口11番線→三吉神社前→谷内佐渡→大学病院前  
秋田駅東口1番線→北光寮→南団地→大学病院前  
秋田駅東口2番線→碓→南団地→大学病院前

#### ■タクシーをご利用の場合

秋田駅付近から10分程度 (1,300円前後)

